

公益社団法人 大和高田市シルバー人材センター  
令和2年度 事業報告

日本経済に目を転じると、コロナ禍による防疫措置を講じながら経済活動が再開し持ち直しつつありますが、先行きの不透明感は強い傾向を示しています。

コロナ禍により、当シルバー人材センターにおきましても、公共・民間とも受託事業が減少し、その影響を受けました。

そして、一昨年に不祥事が発生した市営駐輪場と駐車場につきましては、職員による施設の巡回を増やし、また会員間での抜き打ちによる立ち入り調査により、金銭及び帳簿類のチェックを行うようにいたしました。これらにつきましては、今後も継続していきたいと思っております。

また、令和3年度からは、全施設での一定期間就業した会員の人事異動を行うことにより、再発防止に向けた対策をより一層強化したいと考えています。

このように、会員及び役職員一同が「自主・自立・共働・共助」の理念のもと、事業推進に取り組みました。

令和2年度の事業運営面の実績につきましては、請負・委任に係る契約金額は対前年度比3.8%減に、受託事業件数も前年度と比較して171件の減になりました。また、就業率についても5.7%減少致しました。

また、労働者派遣事業につきましては、受注件数は前年度に比べて14件増の45件、契約金額も約8.9%増と順調に伸ばしております。

一方、会員数については、昨年度とほぼ変わらず、依然300人台で推移している状況であります。

安全就業につきましては、就業現場の安全パトロールを実施し安全対策に努めましたが、就業時及びその途上における傷害事故が3件また、賠償事故については1件発生いたしました。残念ながら、傷害・賠償事故ともに依然無くない状況です。

「安全はすべてに優先する。」ことから、今後ともなお一層会員及び役職員が互いに連携・協力して、さらなる安全就業の徹底と事故防止対策に努めてまいります。

当センターは、公益社団法人として法令を遵守した健全な事業運営に努めております。今後とも、一層地域社会へ貢献できるよう会員・役職員一同努力してまいります。

以下、令和2年度事業の概要について報告致します。

1. 会員数（令和3年3月末現在）

男性会員	311名	
女性会員	82名	
合計	393名	（前年度対比+0.5%）

2. 受託事業の実績（請負・委任によるもの）

受託事業件数	1,715件	（前年度対比-171件）
就業延日人員	32,167名	（前年度対比- 8.5%）
契約金額	150,436,665円	（前年度対比- 3.8%）
会員就業率	78.4%	（前年度対比- 5.7%）

3. 普及啓発活動

啓発リーフレットを市内の全世帯及び事業所等に配布して、一般家庭、事業所などへの就業開拓活動を行ないました。例年実施している、スーパーマーケット等において会員募集や仕事依頼のチラシ配布の実施は、コロナ禍の影響により見送ることに致しました。

4. 社会参加活動等

小学校児童の下校時における、立哨活動を実施致しました。

5. 安全就業の推進

「安全はすべてに優先する」という認識のもと、安全・適正就業委員及び推進員による就業現場への安全パトロールや、職員による現場巡視を頻繁に行うなどして、事故防止に向けた対策を検討し実施致しました。

6. 労働者派遣事業の推進

適正就業の推進並びに多様化する就業ニーズに対応するため、請負・委任契約による就業に加え、労働者派遣事業を積極的に活用して、就業機会の拡大と地域社会の活性化を図りました。

派遣事業の実績としましては、受注件数は45件で、延べ4,876人日就業し、契約金額は前年比8.9%増の24,139,799円となりました。